

131 シマセンニュウ

(スズメ目)

Locustella ochotensis

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

オホーツク海沿岸からカムチャツカ半島、千島列島、サハリン、日本北部などで繁殖し、繁殖後は東南アジアなどに渡り、越冬する。日本には春に渡来し、北海道で繁殖する。春秋の渡りの時期に本州、四国、九州、沖縄に渡来する。海岸部の草原や湿原、河川敷、牧草地などに生息し、昆虫類や節足動物などを採食する。



写真提供：片岡宣彦

(性別：不明)

※成鳥

※鳥類標識調査時に撮影

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舢倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、トカラ列島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、高砂市、養父市、★淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局 地的 繁殖	希 少
	○					○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

要調査ランクから要注目ランクへ変更。

県内では主に4-6月と9-10月に生息する。個体数が少ない上に、草の中を潜行するため観察記録は多くない。2000年以降の記録は極めて限られている。鳥類標識調査では豊岡市円山川河川敷などで定期的に多数確認記録があるが、はっきりとした生息状況が不明なため、要注目ランクとした。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、主要な生息地であるヨシ原の多くが近年の開発の時代に失われたことが、本種の減少要因であることから、河川敷や池沼周辺での広いヨシ原の再生が重要。